

物価高騰と新型コロナの影響から事業者の営業を守るための給付金を求める請願

令和4年12月2日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市長島三丁目21番8号

青森民主商工会

会長 野村 勝

紹介議員 赤平 勇人

(請願の趣旨)

新型コロナウイルスは、2020年1月に日本で最初の感染者が確認され、それから2年半以上が経過した。この間、飲食店をはじめとした多くの事業者は深刻な影響を受け続け、それでも必死に営業を続けてきた。

だが、ついには運転資金が尽き、自身の生活もままならず、廃業に追い込まれているケースが出てきている。こうした状況に加えて、急激な円安による物価高騰の影響により、この数は今後さらに増えていくことが予想される。

市内飲食店をはじめとした事業者からは、「コロナの第8波が来ると思うと不安だ。支援金が出るという保証もないのが不安」、「物価の高騰により、食材の仕入れの値段が上がった。値上げに踏み切っても固定客が来なくなるのが怖い」という声が上がっている。

長期にわたるコロナ禍の下で深刻な影響を受けていた事業者は、急激な円安による物価高騰の影響により廃業に追い込まれ、これまで以上に追い打ちをかけられている。これまで以上に影響を受けている事業者に対して、これまで以上の支援が必要である。

そのための支援として、全国の各自治体でも行われている、影響を受けている事業者に対する直接的な支援事業を市内事業者は切実に求めている。

よって、事業者の暮らしと営業を守るため、以下の通り支援策を講ずる事を強く求める。

(請願事項)

物価高騰と新型コロナウイルスの影響が発生している事業者に対して、支援を目的とした直接的な給付金事業を行うこと。

この給付金事業は、影響が出ているすべての事業者に届くようにし、申請はできるだけ簡素にすること。